

礪川小学校 3年 国語 聞く・話す 「山小屋で三日間過ごすなら」

授業のねらい

- グループで話し合うときにどんな気づきがあったのか、感想を伝え合う。

タブレット端末活用の工夫／教育データ活用の工夫

【主な流れ】

- 山小屋で三日間過ごすなら自分は何をしたいか、何をっていくのかを各自で決めて、ムーブノートで共有する。
- グループで話し合い、発表する。

【詳細】

- 自分の意見をもち、グループで話し合いをした中で、気付いたことや感想を明確にする。
- 「どうしてそう思ったのか」の理由を併せて明記し、ムーブノートのカードに書き込む。
- 電子黒板で広場に提出されたカードを写し、理由を明確に書かれたカードに教師が花丸を付ける。
- 児童はタブレット端末で、それぞれ広場に出したカードを見て、拍手ボタンを押したり、コメントを送ったりする。
- 文章を書くのが苦手な児童には、広場のカードを参考にさせる。



児童の様子

- タイピングが苦手な児童は、指書きで対応していた。
- 進度に差が生じて、コメントや拍手を送る人や、広場に出されたカードを参考に書き込むなど、授業内で自分に適した学びを見付け、活動を継続する児童の姿が多く見られた。

成果

- 児童が操作確認も含め、ムーブノートをもう一度使ってみたいと感じていた。
- 児童の感想を集めやすく、共有しやすかった。
- 別の教科（社会科「警察署」単元）でも活用することができた。

課題

- 通信環境の不調や、端末の起動時間が長いことで、タブレットの使用に踏み切れないこともあるが、児童の情報活用能力育成のために継続して活用していきたい。